

公立陶生病院

病院長名	福岡 宗良
所在地	〒489-8642 愛知県瀬戸市西追分町 160 番地
交通案内	名鉄瀬戸線瀬戸市役所前駅下車、西へ徒歩約 3 分（東棟南玄関）/新瀬戸駅下車、東へ徒歩約 5 分（東棟西玄関）/愛知環状鉄道瀬戸市駅下車、東へ徒歩約 5 分（東棟西玄関）

■ 病院の特徴

(1) 当院は、1936 年 10 月、地域住民の大きな期待を担って創立され、1952 年には公立病院となりました。現在では、瀬戸市・尾張旭市・長久手市による、感染症病床・結核病床を含む 633 床の尾張東部での唯一の公立病院であり、地域の基幹病院としての役割を果たしています。

(2) 当院は、名古屋東部（愛知県瀬戸市）に位置し、上記 3 市に加え、名古屋市の一部・春日井市を診療圏に含んでいます。30 科を標榜しており、地域連携により良質な地域完型医療を提供しています。ドクターヘリ搬送にも対応し 24 時間断らないがモットーの「救命救急センター」および各診療科の救急対応、質の高いがん治療を行い地域に根ざしたサポートや親身なケアを提供する「がん診療連携拠点病院」、大学病院に匹敵する高度・先進医療の提供、循環器疾患・脳卒中・糖尿病など緊急～慢性期まで連携を軸とした地域医療、結核病床を持ち感染症専門医の在籍による素早く確実な新興感染症対策を行うと共に、医療従事者の育成に努めています。

■ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

公立陶生病院小児科

【研修目標】

幅広い研修を通じて、地域の未来を支える子どもたちの健康の増進と回復に貢献できる小児科医となる

【研修期間】

3 年

【研修スケジュール】

1 年次～2 年次：当院にて、感染症や小児救急の初期対応、新生児医療などを中心に研修を行います。アレルギー、循環器、神経、腎臓などの疾患も研修し、慢性疾患児のフォローや在宅医療（訪問診療）も経験します。また、乳児健診や小児保健についても研修します。

3 年次：当院では十分に研修できない血液・腫瘍疾患や、専門性の高い領域について、連携施設である名古屋大学医学部附属病院あるいは名古屋市立大学病院で 6 ヶ月間の研修を行うことができます。希望者には、あいち小児保健医療総合センターでの研修も選択可能としています。



■ 主な連携施設

あいち小児保健医療総合センター

名古屋市立大学病院

名古屋大学医学部附属病院

■ メッセージ

指導医：森下先生

当院小児科の特徴としては以下の点が挙げられます。

- ・地域の基幹病院として、プライマリケアから 2 次・3 次医療、時には珍しい疾患まで幅広く経験できること
- ・地域周産期母子医療センターを擁し、超低出生体重児を含む新生児症例を経験できること
- ・地域の開業医・訪問看護ステーションと連携しながら、在宅医療、訪問診療を行っていること



- ・地域の乳幼児健診や予防接種を地域の開業医と協力しながら担っていること
- ・院内の風通しが良く、他科や他職種とスムーズに連携・協力しながら診療にあたっていること

これらを通じて、地域における小児科医の果たすべき役割を十分に経験し、小児科医の礎となる部分を学ぶことができます。地域の中で育っていく子ども達を見る（診る）ことは小児科医にとっての喜びであり楽しみです、医師としての自分の成長や学びの新しい種をそこに見出すこともできます。

地域の未来を支える子どもたちのために、ともに学ぶ仲間を待っています。

■ 募集要項

・採用予定人数	3 人
・給与／月額	月額平均：713,000 円 年額：約 9,235,000 円 ※年額は専攻医 1 年目の諸手当を含んだ目安です。実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数／月	3～4 回
・当直料／回	時間外勤務及び勤務体制に応じて支給
・その他	
・応募連絡先	担当者 研修管理室 電話番号 0561-82-5101 E メール kenshu@tosei.or.jp